

受賞者氏名	梅崎 修	
所属	キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科	
受賞年月日	2024 年 3 月	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	公益財団法人 労働問題リサーチセンター	
受賞名	第 38 回(令和5年度)冲永賞	
受賞(研究)内容詳細	本書は、戦後からはじまる日本的雇用システムの構築過程について、制度構築の当事者たち（経営者、人事担当者、労働組合、労働者、官僚など）の意図と行為の連鎖に焦点を当てながら分析した共同研究である。過去 20 年間にわたり時間をかけて実施した当事者たちへのインタビューから得た口述資料（オーラルヒストリー）の 200 回分、また新しい文書資料を積極的に使って日本的雇用システムの構築史を明らかにした。工員と職員の身分差撤廃、生活賃金、労使協議制、職務給導入の失敗、職能資格制度、雇用ポートフォリオ、統一労働協約など、戦後日本の人事制度・労使関係が網羅的に分析される。 「日本的雇用システム」は、年功賃金や終身雇用という、わかりやすいが、定義が曖昧な言葉で表現されることが多い。それゆえに、その実態がつかめない。本書では、戦後日本の雇用関係史を企業内民主化の過程と定義し、日本社会の「内」にいた当事者の思考と行為からその達成と歪みを明らかにした。	